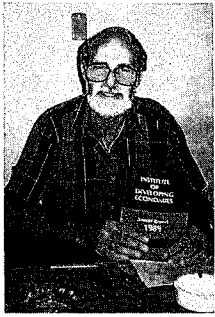


経済社会研究・地域調整センター(研究機関紹介)

著者	石井 章
権利	Copyrights 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	ラテンアメリカレポート
巻	7
号	3
ページ	35-35
発行年	1990-09-20
出版者	アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00006556



ゴロスティアガ所長

CRIES: Coordinadora Regional de Investigaciones Económicas y Sociales

石井 章
(在サンホセ海外調査員)

かつて筆者は本誌本欄 (Vol.2, No.3, 1985年)で、INIES(ニカラグア経済社会研究所)について紹介した。その際CRIES(経済社会研究・地域調整センター)についても触れ、前者が中米・カリブ地域に関する研究・情報センターであるのに対して、後者は同地域に関する諸研究機関を結ぶ国際的な研究連絡組織であると述べたが、その後1985年に組織が変わり、INIESはニカラグアの問題のみを扱う研究・情報センターとなり、中米・カリブ地域に関する研究部門はCRIESに統合された。したがってCRIESは従来の研究連絡ネットワークとしての役割に加えて研究そのものを行なう国際機関として再編成された。ここでCRIESについて改めて紹介する。

CRIESは1982年にINIESと同時に設立された。そして上述のように85年にINIESの研究部門の一部を吸収合併した。

CRIESは政府や公的機関、政治団体から独立した自立的な組織である。中米・カリブ地域の構造的危機に直面して、地域の自立、民主主義、発展、および安定的な平和に基づいた多数の者の利益という視点から、地域のための代替手段を探求する、というのがCRIES設立の趣旨である。

CRIESの活動領域は、調査研究、広報・出版、域外における学術的ネットワークの確立、地域の問題に関する基盤活動の育成、の四つに分類される。

1989~91年度の調査研究プロジェクトは以下のとおりである。

1. 「中米地域における紛争と平和の代替策」プロジェクト
 - (1) 中米地域紛争の総体的な広がり
 - (2) 中米：交渉のプロセスにおける国内の動勢とその地域的波及
 - (3) エルサルバドル：共同体的勢力と大衆デモ

クラシーの組織

2. 調整および国際分析チームに関するプロジェクト
 - (1) CLACSO(ラテンアメリカ社会科学協議会)の国際関係作業グループ
 - (2) 最近10年間のヨーロッパ-中米関係
 - (3) 90年代における米国と中米：対外政策と社会変化の動勢
 - (4) 中米危機とメキシコ・南米
 - (5) カリブにおけるNGO(非政府機関)と経済開発の代替策
 - (6) 中米・カリブに関する専門家組織の、会議への参加および体系的な協力
3. 経済研究の分野
 - (1) 対外債務、安定化および調整：90年代における中米
 - (2) 中米における発展の代替戦略：行為者、利益、地域の展望
 - (3) 中米経済統合：新しい基礎と代替策

広報出版活動としては、研究情報誌*Pensamiento Propio*(月刊)および*Cuadernos de Pensamiento Propio*(不定期)、情報誌*Boletín de Actualidad Centroamericana*、単行本の出版、出版物の交換等を行なっている。

地域の問題に関する基盤活動とは、地域の情勢を経常的に分析し、討議するためにCRIESが組織、促進し、また協同し、参加する諸活動で、国際会議、セミナー、講演その他が含まれる。

CRIESの本部はマナグアにおかれ、70人の職員がいるが、そのうち研究者は23人、その国籍は15カ国にまたがる。創立者で現所長のゴロスティアガ(Xabier Gorostiaga)神父はパナマ人である。

CRIESの住所、連絡先は、De la Iglesia El Carmen, 1 cuadra al lago, Managua, Nicaragua. Apartado C-163. Tel. 26228, 25137, 23188.